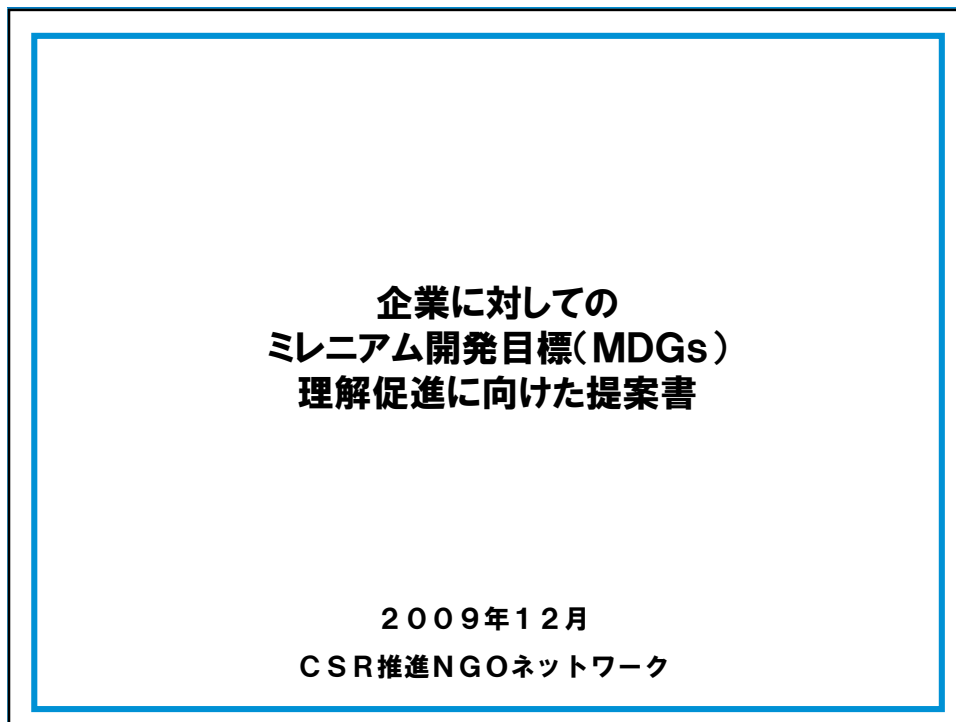


添付資料 1. 「企業に対してのミレニアム開発目標 (MDGs) 理解促進に向けた提案書」



**はじめに**

本提案書は、  
企業を含む市民向けのミレニアム開発目標(MDGs)理解促進の啓発活動を実施している諸機関の皆様にとりまして、  
企画提案をなさる際の参考資料となるように、作成したものです。

「企業の社員へのMDGsの理解促進」を目的とし、  
企業におけるCSR活動の現状や、MDGs理解促進の整理、  
さらには提案時に有効な  
コミュニケーション活動やツールなどのアイデアを  
集約したものです。

皆様の提案にお役に立てれば幸いです。

平成21年12月  
CSR推進NGOネットワーク同

## CSR推進NGOネットワークとは？

CSR推進NGOネットワークは、

企業8社・国際協力NGO21団体とて構成するネットワーク組織です。

世界の「貧困と開発」の問題解決に寄与するために、

NGOと企業が相互理解を深め、CSR活動の推進に取り組んでいます。

### <参加企業>

味の素株式会社  
花王株式会社  
ソニー株式会社  
株式会社電通  
日本電気株式会社  
株式会社博報堂  
パナソニック株式会社  
ファイザー株式会社

### <参加NGO>

(特活)ACE  
(特活)アフリカ日本協議会  
(特活)アムルトジャパン  
エイズ孤児支援NGO・PLAS  
(特活)オックスファム・ジャパン  
(財)ケア・インターナショナル ジャパン  
(特活)国際子ども権利センター  
(財)国際開発救援財団(FIDR)  
(財)国際開発センター  
(特活)ジーエルエム・インスティテュート  
(特活)シェア＝国際保健協力市民の会  
(特活)ジェン  
(特活)シャプラニール  
(社)シャンティ国際ボランティア会  
JANNET事務局  
(特活)日本国際ボランティアセンター  
(特活)ハンガー・フリー・ワールド  
(特活)ブリッジ エーシア ジャパン  
(財)日本フォスター・プラン協会  
(特活)横浜NGO連絡会(YNN)  
(特活)国際協力NGOセンター【事務局】

CSR推進NGOネットワーク

## 本提案書の編集プロセス

### ● ネットワークメンバーに対するMDGsに関するアンケート

MDGs理解促進の課題等を把握することを目的に実施。

実施期間（2009年7月16日～24日）

対象：本ネットワークのメンバーである企業8社、NGO21団体  
(企業6社およびNGO11団体から回答あり)

### ● 定例ミーティングでの情報交換、意見交換

定例会(2009年7月28日、9月29日)にて、

企業・NGOメンバーからMDGs理解促進のための意見交換。

### ● コアメンバーによるミーティング

関連情報、周辺情報の収集、分析に関するミーティングを実施。

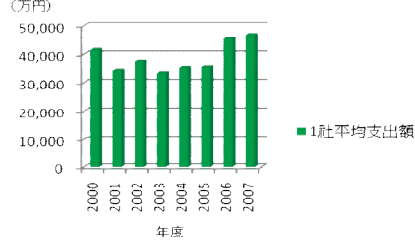
実施日：2009年9月7日、10月9日

CSR推進NGOネットワーク

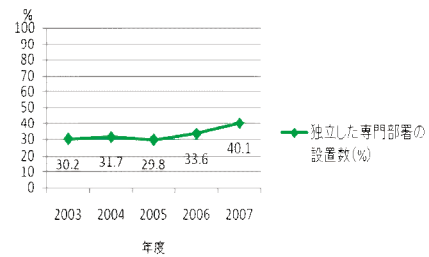
## 企業のCSR活動の現状は？

「07年度社会貢献活動実態調査:08年12月25日発表」より

社会貢献活動支出額



企業内での独立したCSR専門部署の設置数



社会貢献支出額、CSR担当専門部署も増加傾向にあり、  
社会活動への積極的な姿勢が伺えます。

CSR推進NGOネットワーク

## 企業の国際分野への取り組みの状況は？

### ● 「社会貢献支出額」

「国際交流・協力分野」 (災害支援除く)

わずか **3.4%**

文化・芸術 14.3%

環境 11.6%。

分野別社会貢献活動支出比率	支出総額に占める比率 (%)		前年度 (%)
	2006年度 (2006)	2007年度 (2007)	
1 教育福祉	5.0%	3.8%	5.4%
2 健康・医療	0.2%	0.8%	1.9%
3 スポーツ	0.8%	0.6%	1.4%
4 学術・研究	20.3%	14.2%	12.5%
5 教育・社会事業	15.8%	16.6%	24.9%
6 文化・芸術	12.2%	14.2%	15.4%
7 環境	9.2%	11.6%	6.7%
8 国際・伝統文化振興	0.6%	0.8%	0.2%
9 国際交流・協働	3.7%	3.4%	2.1%
10 国際交流・協働	3.2%	3.4%	0.8%
11 国際交流・協働	1.8%	2.9%	0.8%
12 国際交流・協働	0.1%	0.7%	0.1%
13 国際交流・協働	0.2%	0.1%	0.1%
14 国際交流・協働	0.2%	0.1%	0.8%
15 国際交流・協働	1.7%	1.4%	0.4%
16 その他	0.2%	10.8%	0.4%

### ● 「社員のボランティア活動支援」

「特定の社会課題のニーズや取り組みに対する知識を習得するボランティア研修制度」

わずか **4.1%**

ボランティア休暇制度 25.6%

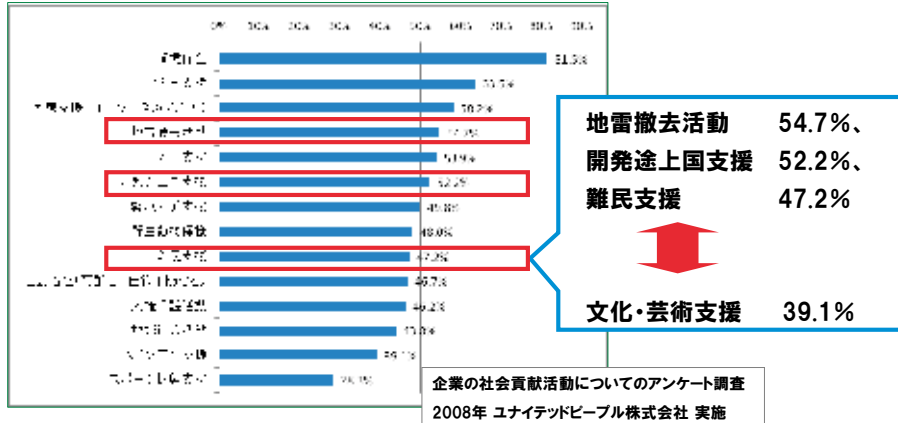
ボランティア表彰制度 9.4%

「07年度社会貢献活動実態調査:  
日本経団連 08年12月25日発表」

CSR推進NGOネットワーク

## 一方、市民側からの企業への期待は？

### ● 企業のCSRに、市民はどのような活動を期待しているか？



企業のCSR活動として、「国際協力」を求める声は高まっています。  
グローバルイシューについての社員に対する一層の教育・啓発、体制づくり、  
特に、国際協力分野への取り組みに対する期待がうかがえます。

CSR推進NGOネットワーク

## ミレニアム開発目標(MDGs)とは？

正式名称は、国連ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals:MDGs)。  
2000年の国連ミレニアムサミットにおいて採択され、日本を含むすべての国連加盟  
国が2015年までに世界の貧困問題を解決するために掲げられた各国共通の目標  
です。

### MDGs8つのゴール

- ゴール1：極度の貧困と飢餓の撲滅
- ゴール2：普遍的初等教育の達成
- ゴール3：ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- ゴール4：幼児死亡率の削減
- ゴール5：妊産婦の健康の改善
- ゴール6：HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
- ゴール7：環境の持続可能性の確保
- ゴール8：開発のためのグローバル・パートナーシップの推進



最新のターゲットと指標は以下のウェブサイトから参照可能。

CSR推進NGOネットワーク

United Nations site for the MDG Indicators (<http://unstats.un.org/unsd/mdg/Default.aspx>)

## 企業にとって MDGs理解促進に関する課題



**MDGsへ取り組む意義、企業としての取り組みの方法が明確ではありません。**

1



- 企業が取り組む合理的根拠として、MDGsは国連公認の日本政府も含む世界189ヶ国が共通で約束した目標であることが周知されていませんね。
- 企業や社員に対して、MDGsの理解促進や解決への行動を求めるレベルが明確になっていません。



**環境問題への意識や取り組みが活発なのに対し、MDGsへの対応は非常に鈍いのです。**

2



- 環境破壊や生物多様性の損失によってもたらされる貧困層への影響など、環境と開発のつながりに関する知識と意識が低いですね。  
(環境問題自体が、低炭素対応に主軸が置かれがちであることも起因)

CSR推進NGOネットワーク

## 企業にとって MDGs理解促進に関する課題



**MDGsに代表される地球規模の課題を、日ごろの企業活動と関連づけたもの、自社や自分に関係あるものと考えることが難しいのです。**

3



- 自社活動とMDGsが関連していない、もしくは関連していると感じていないようですね。地球規模の課題の解決による自社へのメリット、もしくは解決されず悪化することによる自社へのマイナスの影響を明確に把握する意識を持つように指摘する必要があります。  
\*グローバル企業においてはMDGsを意識している企業もありますが、国内でビジネスが完結している場合は特にその傾向が顕著です。



**というわけで、MDGsへの対応はCSR担当者にとって取り扱いにくいテーマなんです。**

4



- ①-③のような状況が企業にある場合、敷居が高いテーマととらえられがち。気軽に理解できるようにする必要があります。

CSR推進NGOネットワーク

## NGOにとってのMDGs理解促進に関する課題



MDGsの情報発信をする際の、  
リソース(コミュニケーションアイデア、人、資金、時間)  
が不足しているんです。

- ・企業に伝えたいことはあるが、どのような方法で行えば良いのかわからない。
- ・これまでNGOの多くは、  
学校や一般の市民を対象にした開発教育や啓発活動をしてきたが、  
企業や企業の社員を対象にしたものは決して多くはありません。
- ・また、こうした開発教育や啓発の中心は、  
個々のNGOの活動国の現状や、個々のNGOの活動紹介にとどまっている  
ケースが多く、  
MDGsに照らし合わせた活動紹介ができていない場合もあります。

CSR推進NGOネットワーク

## 企業の人々の理解、参加を促すために！

MDGsは、先進国に暮らす市民一人ひとり、またグローバルに活動を営む  
多くの企業にとって、何が出来るかを問われている大きな課題といえます。

しかし、**MDGsを意識したCSR活動を行っている企業は、  
まだほんの一部です。**

わたしたち、CSR推進NGOネットワークは、  
ミッションである

**企業がMDGsと同じ目標を見据え、  
その達成に効果的な連携を推進するためにも、**

**MDGsを意識したCSR活動について**  
企業のCSR担当者やトップにアプローチすることとあわせて、  
ボトムアップ的アプローチとして、企業で働き、同時に一市民として  
社会で生活する従業員(=社員)に対する啓発を提案する必要があると考えています。

CSR推進NGOネットワーク

## 一般社員に対する理解促進の重要性

- 企業を支え、企業を動かしていくのは、社員です。

企業のCSR担当者や、経営トップへのアプローチにとどまらず、一般の社員が気軽に理解、参加できるアイデアや、プログラムを提供し、彼らが組織内で共有行動を進める仕掛けも有効です。



CSR推進NGOネットワーク

## 企業へのご提案に向けて

当ネットワークは、企業の社員に向けたMDGsの理解促進について、以下のように提案されることをお勧めいたします！

- **多国籍企業を主対象とする。**
  - ・多国籍企業はビジネス形態が途上国の開発・環境問題にも深く関係する。
  - ・海外でのMDGs対応先行事例を認知している可能性も伺える。
  - 持続可能な開発への積極的な参加を提唱したい。
- **社員が「自社・自身との関わり」に気づく。**
  - ・地球規模での課題をMDGsを通して認識いただく。
  - ・「自分にも関係がある、自分にも何か参加できる」と意識していただく。
  - 部署間など、周囲との共有につなげ、参加につなげていきたい。

CSR推進NGOネットワーク

## 提案のスタンス

### ・ 業態・業種別アプローチで「関わり意識」を！

労働者の人権や安全、衛生、環境、公正取引の問題点など、  
自社の事業存続とMDGsと関係性に関する気づきを与える。  
こうした課題に取り組まないことは、国際競争が21世紀社会の存続条件となる  
企業にとっては、リスク要因であることを伝達する。

### ・ 義務ではなく、「チャンス」!

いち早く、世界との関係性に気づき、持続可能な開発、  
環境対応に全社を挙げて取り組む企業が評価される事実などを紹介し、  
MDGsへの取り組みの意義として伝える。

### ・ MDGs全体を理解できる仕掛けも！

業態業種別の説明と併せて、世界共通の目標であるMDGsに関しては、  
全体像を理解いただく。

CSR推進NGOネットワーク

## 提案のポイント

### 社員の方々の共感を得るために。

- ・ 日本国内の貧困問題など身近な問題とのリンク
- ・ CSR担当者が取り組みやすい(社内を巻き込みやすい)仕掛けを提供。

- ① 簡単  
・ 手間と場所をとらない
- ② 楽しい
- ③ ダイナミック  
・ 視点や取り組む課題範囲
- ④ 親近感

アタマではなく、  
ココロで学ぶ  
仕掛けを。

15

CSR推進NGOネットワーク



## 有効なコミュニケーション活動・ツールのアイデア

### 例えば、こんなツールがあるとよいのでは？

- **MDGsを支持している人には“白い羽根”**  
\*内容を知ってもらってからつけてもらう。



- **MDGs検定**  
個人の持つチャレンジ精神に問いかける。  
日本人は検定好き



- **NGOによるイベント出展**

- ・ WS、写真展、報告会、出前講座など
- ・ 現地のリアルな状況、支援活動の様子などリアルに伝える
- ・ 社員食堂や、写真のこども、家族も参加するイベントなど



CSR推進NGOネットワーク

## 啓発活動に有効なコミュニケーションツール例

- **ウェブサイトでの説明**  
・共通のバナーの設置いつでも気軽に見られる
- **冊子**  
・その冊子を持っている人が増えれば、それを持ち歩いている事自体が“宣伝”効果につながる。
- **漫画で知るMDGs**  
・幅広い層の人に読んでもらうことにより、理解を促進する。
- **CSR報告書にMDGs達成評価を加える。**  
・全企業に共通のフォーマットを作成

CSR推進NGOネットワーク

## お問い合わせ窓口

本提案書およびCSR推進NGOネットワークについてのお問い合わせは下記JANICまでお願いします。

CSR推進NGOネットワーク事務局  
(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)  
広報・渉外担当 富野、井端  
Tel:03-5292-2911 Fax:03-5292-2912  
E-mail: [csr@janic.org](mailto:csr@janic.org)